

リアルな体感で就活の熱量を上げ、 企業を見る目を養うキャリア支援

國學院大學

Kokugakuin University

就活の早期化にいち早く対応
企業理解を深める支援がカギ

コロナ禍からの回復を経て多くの企業で採用意欲が高まり、2023年度卒業生の就職活動は好調に推移した。國學院大學学生事務部キャリアサポート担当次長の木村都氏は、その傾向を次のように語る。

「今年度の卒業生はコロナ禍で企業とのリアルな交流が少なく、働くという実感を持ちにくいまま就職活動を進めました。学生優位の『売り手市場』ではあったものの、どの企業を選べば良いかという判断が学生には相当難しかったようです」。國學院大學のキャリア支援では、学生たちへ企業の「リアル」を提供し、働くことへのモチベーションを高めていくことを大切にしてきた。コロナ禍で

の就職活動が、図らずもその重要性を浮き彫りにする形になったといえる。さらに企業の採用活動も、早期化が一段と加速する。「本学では早い段階から企業を見る目を養う大切さを伝えてきたことで、1年次からインターンシップに参加する学生が顕著に増えていますが、それでもまだ一部に限られています。そこで多くの学生にとって、企業のリアルに触れる最初のステップとなるのが『企業セミナー』です」

優良企業との重要な「接点」となる『企業セミナー』

毎年秋に学内で開催する『企業セミナー』は、國學院大學が学生と優良企業との重要な接点と位置付ける注目のキャリア支援の一つだ。23年

度も大手総合建設企業や出版社・メーカーをはじめとする多彩な顔ぶれの68社が登場し、延べ約2000名の学生が参加。近年は1・2年生の参加率が増加傾向にあり、採用活動の早期化を受けて開始時期も従来の10月から9月へと早めている。

特に注力するのがBtoB企業の紹介だ。大規模事業を手掛ける世界的な優良企業がひしめく業界でありながらも、BtoB業界は学生にはいま一つ馴染みが薄い。そこでセミナーでは、BtoBの現場を熟知する企業担当者にビジネスの醍醐味や最新動向を語ってもらうことで、学生たちの知的好奇心を喚起し、業界・企業選びでの視野を広げさせることを狙う。「『企業セミナー』は学生たちに強くアピールしていることもあり、ご参加いただいた企業の担



(左上) 学内のキャリアサポート課には、毎年秋になると「内定者アドバイザー」が日替わりで常駐。IT・金融・商社といった人気業界を中心に内定を得た4年生約30名が、自身の経験をもとに学生目線のアドバイスなどを行っている。
(右上) 就活のポイントや先輩のリアルな就活体験記を集めた『就活パーフェクト手帳』、優良企業を網羅した『企業大研究』などを毎年刊行。就活生のパイブルとなっている。
(左下) 『業界別体験イベント』では、普段は目にすることのできない現場の内部やバックヤードなどの見学を通じて、仕事をより深く知ることができる。

「リアル」をキーワードに学生たちが働くことのイメージを具体化し、就職活動へのモチベーションを高めていく。そんなキャリア支援を掲げてきたのが國學院大學である。同学学生事務部キャリアサポート担当次長の木村都氏に話を伺った。

取材・文 / 酒井 撰

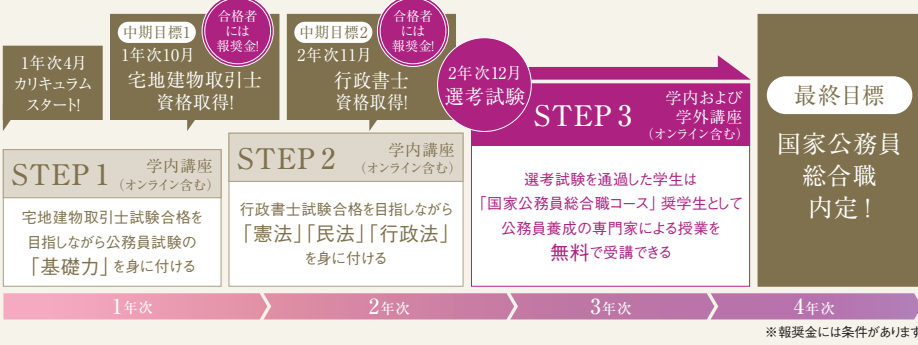
難関試験突破を徹底サポート!

独自のキャリアプログラム K-PLAS(ケー・プラス)

▶ 将来を見据えた2コース 国家公務員総合職コース 公認会計士コース

無理なくモチベーションを継続できる独自の3ステップ方式で、学生の目標達成をバックアップします。

■ 国家公務員総合職コースの場合



K-PLAS受講生の声

消費者庁・総合職に
内定 (2024年2月時点)



最上奏羽さん

法学部 法律学科 4年
私立駒澤大学高等学校 卒業

壁にぶつかったことも数多くありました。しかし、K-PLASの講師陣やキャリアサポート課の職員の方々が、最後まで親身に来てくれたことが私の気持ちを前向きにしてくれました。同じ目標に向かって仲間たちと切磋できる環境があったことも、大きかったです。

これら充実したキャリア支援の屋台骨となっているのが、9年間かけて構築してきた企業との太いパイプだ。同学では、キャリア支援担当の職員が「一社訪問して調べた情報を基に、独自基準で絞った優良企業約200社を紹介するデータブック『企業大研究』を16年度から毎年発行している。この制作のために、職員が年に二度各社を訪ねる中で強化してき

企業との太いパイプも強み 独自のデータブックを刊行

当者の方が集まる学生の多さと熱気に驚かれることが多いですね」
加えて『業界別体験イベント』も一層の拡充を図る。建設現場、空港、官公庁など、エアライン・マスコミ・金融・建設・公務員という人気業界の現場に足を運び、働く人の熱量に触れることで、新たな気づきを得る機会となっている。こうしてモノの見方や行動を限りなく社会に近づけた上で、学生たちはインターンシップに臨む。同学では一人あたり20社以上のインターンシップ参加を呼び掛けている。リアルな体験を数多く重ねる中でモチベーションを高めながら企業理解を深め、学生自身が納得のいく就職活動ができる状態へと導くのである。

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。大学令により1920(大正9)年に大学に昇格し、私立大学として日本で最初に認可された8大学のうちの1つ。文・神道文化・法・経済学部の学生が4年間通う「渋谷キャンパス」は、渋谷の中でも閑静なエリアに位置し、最新の学修設備と研究施設を完備。人間開発・観光まちづくり学部が4年間通う「横浜たまプラーザキャンパス」は、広大なグラウンドのほか、専門的な学修を支える特別教室や演習室を数多く備える。

● DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0141 (入学課)

URL <https://www.kokugakuin.ac.jp/admission>

合格者を続々輩出 キャリアプログラム『K-PLAS』

国家公務員総合職と公認会計士という難関試験突破を入学直後からバックアップしていくキャリアプログラム『K-PLAS(ケー・プラス)』は、企業セミナーとともに同学のキャリア支援のもう一つの柱といえよう。この二つの試験は早期対策と長期にわ

たる学修の積み重ねが必要ことから、学生のモチベーションマネジメントが欠かせない。そこでK-PLASでは、中期目標を設定した独自の3ステップ方式でモチベーションを高めていくほか、奨学金制度も用意して手厚い支援を図る。こうして国家公務員総合職試験では、18年度から6年連続で最終合格者を出し、22・23年度には国家公務員総合職(キャリア官僚)の内定者も輩出。公認会計士試験では、21・22年度には現役合格者を1名、23年度には2名出している。「合格実績とともに支援する上での改良を重ね、ノウハウも蓄積してきました。好循環が生まれつつあると、私たちは確信しています」